

# 教育センターフォーラム 発表テーマ及び概要

## 第1分科会（セミナー301A） ①評価活動の充実をベースにした小中連携 ～英語力向上をめざして～ ／②不登校児童生徒への支援



### 【1-1】① 子どもたちのつながりをいかす外国語活動 (小学校) 言語教育部門所員

互いに、相手の好きな色やものを英語を使ってリサーチしながら、友だちのためにオリジナルTシャツを作った。自信のある子とない子の差が大きくなる外国語活動であるが、いかに友だちとのかかわりの中で「話してみても楽しい」と感じられる授業をつくるかについて、実践をもとに報告する。

### 【1-2】① 多文化学習を通してコミュニケーション力を育てるには (小学校) 言語教育部門所員

「いろいろな国の言葉を使って遊ぼう」と題し、英語だけでなくいろいろな言語を通して、中学年の子どもたちが多文化体験を行った。アジア言語を中心に、あいさつしたりじゃんけんしたり・・・最後には、お国紹介のお店を開いた。単元を通して多文化体験を深めていく様子を報告する。

### 【1-3】① 低学年でもできる！生きている英語 授業実践 (小学校) 言語教育部門所員

楽しむだけの英語の授業ではない、積み上げのできる外国語の授業とは…場の設定を大切に生きている英語、バックワードデザインの方法など、学校全体で取り組んだ外国語活動の研究を、低学年の具体的な実践事例をもとに報告する。

### 【1-4】② どうする？不登校アセスメントと「ふれあいルーム」の活動 (教育センター・不登校児童生徒支援室「ふれあいルーム」)

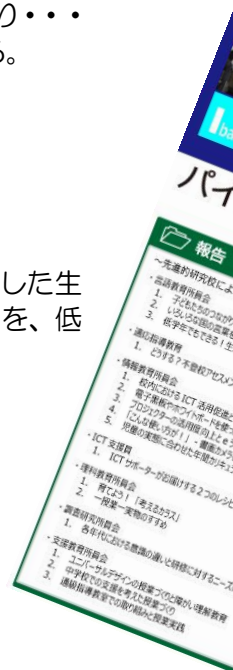
- ・「家にずっといる子どもを外に出したい」
- ・「コミュニケーション能力の低さから人間関係でもめて学校に行けなくなった」
- ・「学校に行けず、生活体験や社会的体験が少ない」
- ・「傷つきやすく人間関係を作るのが難しい」

様々な要因や課題を抱えた子どもたちに対して、どのようなアセスメントが適切なのか。また、不登校児童・生徒が通う「ふれあいルーム」の活動も紹介する。

## 第2分科会（セミナー301B） ③ICT機器を活用した各校の実践例 ／④情報スキルの向上

### 【2-1】④ ICTサポーターがお届けする2つのレシピ (ICTサポーター)

(授業編)日本を支える技術、「プログラミング」を小中学生でも体験できる。子どもの論理的思考力を養うのにも有効な「プログラミング」の基礎が手軽に学べる。「プログラミング」の味わい方を紹介。  
(校務編)吉・脇 ←「うーん！この漢字どうしたら出るの？」異体字・外字のかゆいところに手が届くレシピを紹介。



【2-2】③ 校内における ICT 活用促進と学校年間カリキュラムについて  
(小学校) 情報教育部門所員

授業における ICT 活用の実践、「e ライブラリ」の校内研修の様子を紹介する。併せて来年度の先生方の ICT 機器活用について、また、各学年の発達段階に応じた子どもたちのつきたい力について、年間カリキュラムを例示しながら、効果的な実践につながる「年間カリキュラム」を説明する。

【2-3】③ 電子黒板やホワイトボードを使った生徒の発信授業  
(中学校) 情報教育部門所員

コミュニケーションツールであるホワイトボードを用いた授業実践を紹介する。教師が電子黒板やプロジェクターなどの機器を活用する場面が増えるなか、生徒が如何にしてそれらを使うかも模索し続けなければならない。その模索の途上も併せて紹介する。

【2-4】③ プロジェクターの活用度向上と e ライブラリの学習における役割について  
(中学校) 情報教育部門所員

昨年設置されたプロジェクターをどのように活用するか、活用例を紹介するなどし、伸び悩んでいる活用教員の増加を図った校内の取組過程を紹介する。また、「e ライブラリ」がいかに効果的か研究した内容を、メリット・デメリットを通して説明する。

第 3 分科会 (302) ③ ICT 機器を活用した各校の実践例  
／⑤ 思考力を刺激する理科の仕掛けづくり

【3-1】③ 「こんな使い方が！」 - 書画カメラを使った授業づくり -  
(小学校) 情報教育部門所員

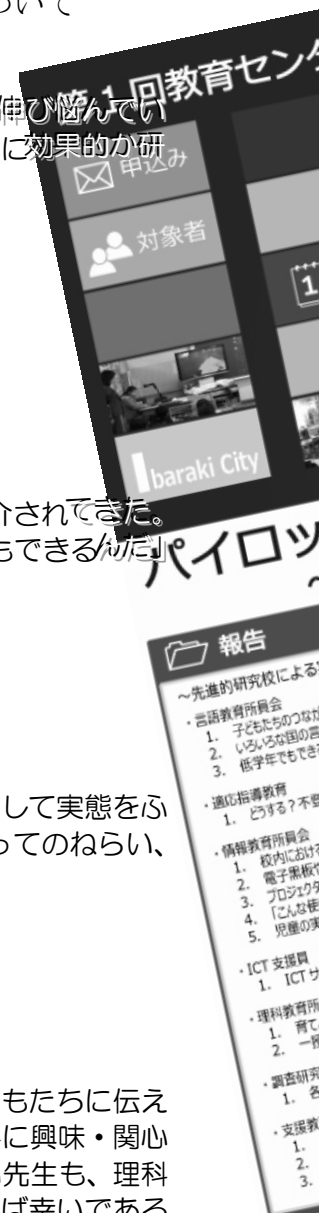
これまでも、各教室に 1 台置かれている、書画カメラを活用した授業づくりが紹介されてきた。授業のなかで、様々な効果をもたらしてくれる書画カメラ。今回も、「こんな使い方もできるのだ」とうなずいてもらえるような書画カメラの機能を紹介する。

【3-2】③ 児童の実態に合わせた年間カリキュラムとは - 西小の実践発表 -  
(小学校) 情報教育部門所員 情報教育協議員

デジタル時代の今、効果的に情報機器を利用できる児童の育成を目指し、西小学校として実態をふまえた年間カリキュラムを作成することとなった。カリキュラムを作成するにあたってのねらい、取り組みや児童の様子・成長、また反省等を紹介する。

【3-3】⑤ 育てよう！「考えるカラス」  
(小学校) 理科教育部門所員

NHK のある番組を見て、その表現方法に衝撃を受けた私。理科のおもしろさを子どもたちに伝える方法を改めて考えさせられた。その番組の表現方法を参考に、子どもや先生が理科に興味・関心を持つポイントと私の実践例を紹介させていただく。理科が得意な先生もそうでない先生も、理科の楽しさを再認識していただき、児童の思考力を高める指導にも活かしていただければ幸いである。



【3-4】⑤ 一授業一実物のすすめ  
(小学校) 理科教育部門所員

理科の学習では、「モノ」を対象にして、知識や表現力、思考力を育む。そんな理科の学習が、教科書などの二次元だけで良いはずがない。ある先輩教師が「毎回何か実験をしたり実物を見せたりしている。」と仰っていたのを聞き、自分もそれに挑戦し、取り組んでみた。その実践を紹介する。

第4分科会 (303) ⑥通常学級における支援と通級指導教室の実践  
／⑦アンケートから見える各年代の違い

【4-1】⑦ 各年代における意識の違いと研修に対するニーズの調査  
調査・研究 所員

今年度は、教職員を経験年数に応じて3つのグループに分け、各グループにおける意識の違い、また研修に対するニーズなどについて、アンケートを実施した。その結果を分析し、そこから見える傾向と課題について報告する。

【4-2】⑥ ユニバーサルデザインの授業づくりと障がい理解教育  
(小学校) 支援教育部門所員

『お』もっているだけでは変わりません。  
『も』う取り組んでいる人もまだの人も  
『て』ーまは、ユニバーサルデザインの授業づくりと  
『な』かなか取り組むのが難しいけど、集団づくりには大切な  
『し』ょうがい理解教育

【4-3】⑥ 中学校での支援を考えた授業づくり  
(中学校) 支援教育部門所員

(1)豊川中学校での実践

「学校生活の中で、いろいろな場面において困難さを感じながら  
過ごしている生徒への支援を考えた授業づくり」  
ともに学び合う授業を進めていく中で、困難さを感じている生徒たちに対して有効な支援について実践例を紹介する。

(2)養精中学校での実践

「個別の支援を必要とする生徒の正しい理解と適切な指導  
～できることから、みんなでできる授業づくり～」  
研修会などからの実践例や既に実践されている工夫、支援委員会の取り組みを紹介する。

【4-4】⑥ 通級指導教室での取り組みと授業実践  
(小学校) (中学校) 支援教育部門所員

茨木市では、小学校5校、中学校1校に通級指導教室が設置されており、ことばやコミュニケーションにつまずきのある児童を対象に指導・支援を行っている。そこで取り組んだ吃音交流会や個別指導の実践を報告・紹介する。

